

埼玉県NPO基金

ニュース



埼玉県のマスコット
コバトン

CONTENTS

● ごあいさつ／NPOとは	2	● NPO運営力強化・育成支援事業	12
● 埼玉県NPO基金とは	3	● NPO元気なまちづくり助成事業	13～14
● NPO活動促進助成事業	4～11	● NPO協働提案推進事業	15～17
● チャレンジサポート事業	4～7	● 地域課題解決型協働事業紹介	18
● みんなでサポート事業	8～11	● 寄附いただいた皆様のご紹介	19
		● 寄附のお願い／お問い合わせ先	20



ごあいさつ



埼玉県知事 上田清司

日本は現在、先例のない時代に突入しています。今年3月には、東日本大震災も発生しました。こうした中、私は「誰かが何とかしてくれる」ではなく、自立自尊の精神で考え行動することがとても大切だと考えております。災害救援や子育て、環境保全など、様々な分野でNPOの果たす役割はますます高まっています。

私は知事就任以来、埼玉県を「日本一NPO活動が盛んな県」にしようと「埼玉県NPO基金」の設置をはじめ、財政支援や活動拠点づくりなどに積極的に取り組んでまいりました。

さらに、皆さんが身近なNPO団体を支援しやすくなるよう、寄附の際に応援したい団体を希望できる「団体希望寄附金制度」も実施しています。

この「埼玉県NPO基金ニュース」は、基金を活用して実施した平成22年度の事業の成果をまとめたものです。

県民の生き生きとしたNPO活動を一層促進するため、皆様の更なる御支援、御協力をお願いします。

NPOとは？

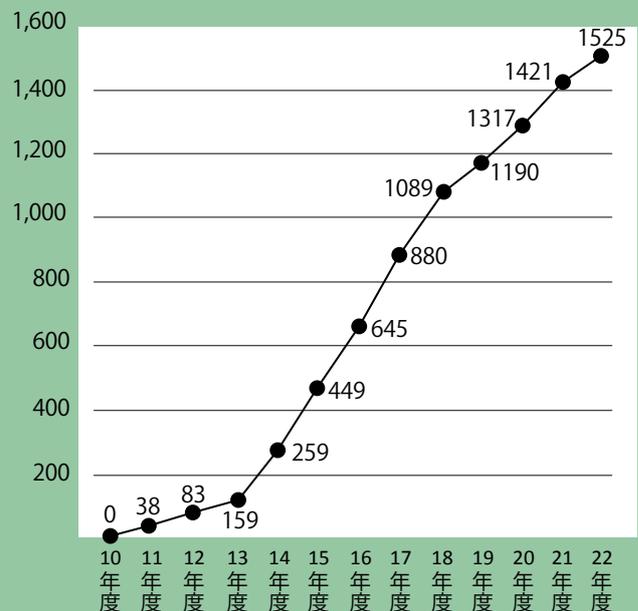
営利を目的とせず、地域や社会の課題に対して自発的に取り組み、継続して社会貢献活動を行う民間団体で、一般的に「民間の非営利組織」と訳されています。

NPO法が定める17の活動分野

- | | |
|------------|----------------|
| ①保健・医療・福祉 | ②社会教育 |
| ③まちづくり | ④学術・文化・芸術・スポーツ |
| ⑤環境保全 | ⑥災害救援 |
| ⑦地域安全 | ⑧人権・平和 |
| ⑨国際協力 | ⑩男女共同参画 |
| ⑪子どもの健全育成 | ⑫情報化社会 |
| ⑬科学技術 | ⑭経済活動 |
| ⑮職能開発・雇用拡充 | ⑯消費者保護 |
| ⑰NPO支援 | |

NPO法人は法に定められた上記17分野の中で活動しています。複数の分野を定款に定めることもできます。

埼玉県認証NPO法人数



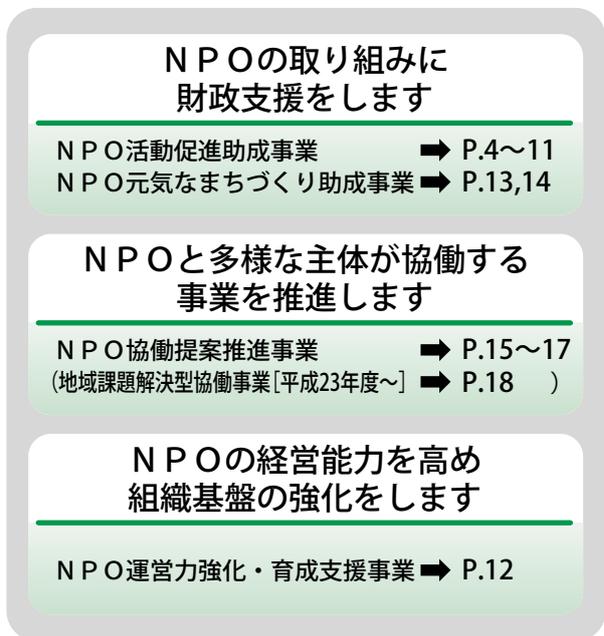
平成10年のNPO法制定以来、NPO法人は順調に数を増やしてきています。昨今、認証数の伸びは一時期の勢いに比べ、落ち着いてはきましたが、着実に数を伸ばしています。



埼玉県NPO基金とは？

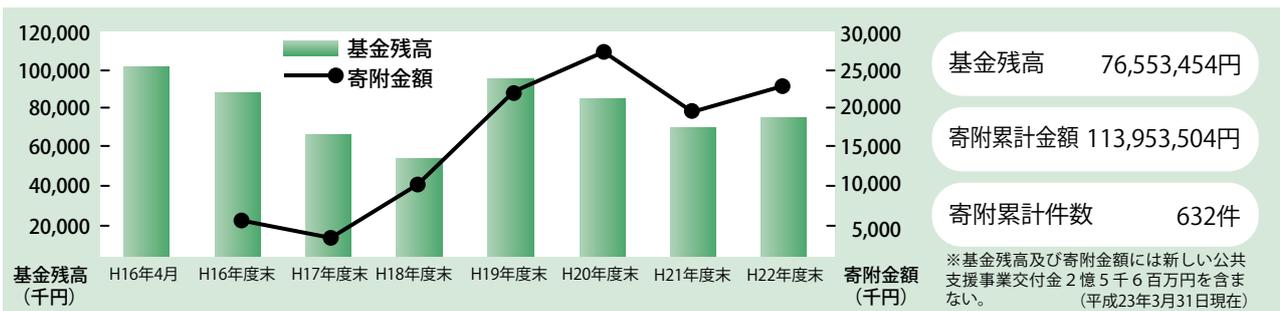
県内NPOの自主的・自発的社会貢献活動に対する支援を行い、その活動を促進するとともに、NPOと多様な主体との協働を推進するための基金です（平成16年4月創設）。

県の積立金（1億円）と県民の皆様や企業の皆様からの寄附金を原資として、NPO活動を促進するための4つの事業を行います。



これまでの寄附実績と推移

寄附方法	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一般寄附	2,958千円	2,381千円	3,146千円	2,746千円	13,613千円	1,487千円	2,316千円
分野希望寄附	2,990千円	1,069千円	1,001千円	2,413千円	3,198千円	9,726千円	11,901千円
団体希望寄附	—	—	6,374千円	17,192千円	11,136千円	8,504千円	9,802千円
合計	5,948千円	3,450千円	10,521千円	22,352千円	27,947千円	19,717千円	24,019千円



これまでの事業実績

事業名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動促進助成	9,728千円(27)	11,736千円(31)	11,628千円(32)	11,434千円(32)	21,348千円(36)	14,822千円(41)	8,945千円(32)
協働提案推進	3,995千円(1)	5,668千円(2)	5,176千円(2)	4,498千円(3)	5,655千円(4)	5,899千円(5)	5,555千円(6)
元気なまち	—	—	—	—	8,654千円(4)	11,827千円(3)	5,298千円(3)
運営力強化	5,933千円	3,908千円	3,896千円	2,798千円	1,666千円	707千円	1,229千円
合計	19,656千円	21,312千円	20,700千円	18,729千円	37,323千円	33,255千円	21,027千円

()内は助成件数



NPO活動促進助成事業

平成22年度事業内容（チャレンジサポート事業）

NPOの独創的・先進的な視点の取り組みに財政支援することにより、継続的かつ安定的な活動と団体の自立を促進します。

対象事業	NPO活動を本格的に展開するために新たに実施する事業 ①一般枠：一般寄附金を原資とし、分野を指定せず助成 ②分野指定枠：分野希望寄附金を原資とし、一定額以上集まった分野を助成 ③寄附者によるネーミング事業：寄附者によるネーミング事業の寄附を原資とする助成		
対象団体	県内に事務所を有し、主に県内で活動しているNPO法人		
助成限度額	①一般枠	50万円（事業費の2/3以内）	
	②分野指定枠	50万円（事業費の4/5以内）	
	③寄附者によるネーミング事業	定額（事業費の10/10）	
事業実績	助成件数	計8件（一般枠3件・分野指定枠3件・寄附者によるネーミング事業2件）	
	助成金額	計3,301千円	

平成23年度事業予定（NPO活動サポート事業）

NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する事業に対して助成します。

本事業は、チャレンジサポート事業の「新たな事業」という応募条件をなくし、独自性・先進性のある事業を広く支援する制度にリニューアルしました。

枠の種類	募集分野	補助率	助成金交付
①分野指定枠	「保健・医療・福祉」「災害救援」「地域安全活動」 「国際協力」「子どもの健全育成」「スポーツ」	事業費の4/5を上限	50万円
	「環境保全」		100万円
②寄附者による ネーミング	・埼玉県電気工事工業組合 災害救援支援事業（災害救援）	事業費の10/10	50万円
	・（財）さいたま住宅検査センター まちづくり振興事業（まちづくり）		
	・麒麟ビール（株）埼玉支社 地産地消・食育応援事業（地産地消・食育）		60万円

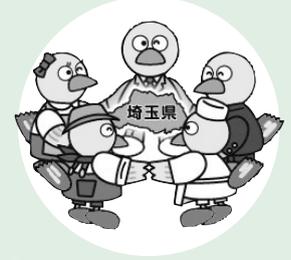
NPO活動サポート事業の流れ



寄附者によるネーミング事業とは？

埼玉県NPO基金に50万円以上の「分野希望寄附」をいただいた場合に、寄附者の方に、県の実施する助成事業に企業名や商品名などの愛称（ネーミング）を付けていただく制度です。

平成22年度は、産経商事株式会社様と財団法人さいたま住宅検査センター様のご寄附により次の2事業を実施しました。



産経商事（株）Sankeiキッズ募金 子育て支援事業

子どもの健全育成

親子スポーツコミュニティリーダー育成事業 (特)スポーツ・サンクチュアリ・川口(川口市)

昨年度に引き続き、2度目の助成を受けさせていただきましたが、今回は単なる普及活動ではなく、明確に受講者の「社会参加・地域貢献」を目標とした「活動現場の拡充」に主眼を置きました。

そのため、私どもの指導者チームが普段行っている民間のスポーツクラブ指導者育成や行政から依頼される地域指導者育成と比較しても、参加者にとって指導方法・指導内容ともかなり内容の濃いものとなりました。

募集にかけられる期間が短かったため、参加者は当初予定の20名より少なくなりましたが、10名の方にご参加いただき、結果として7名ほどOJTに進めることができました。

今後は、指導・育成を受けた参加者の方々に、引き続き現在私どもが行っている活動現場にOJTとして参加していただき、「自立した活動を支援する体制」を団体として行っていきたいと考えております。

また、彼らが自発的に新規リーダーを育成するための土壌づくりも、団体として支援する体制を維持していきたいと考えております。



(財)さいたま住宅検査センター まちづくり振興事業

まちづくり

地方自治を進めるための住民主体のまちづくりシステムの構築

(特)みんなのまち草の根ネットの会(草加市)

地方自治をめざし、草加市で制定されている自治基本条例を活かして、住民主体のまちづくりを進めるシステムを構築するのがこの事業の目的です。システムの構築といっても草加市にはすでに自治基本条例があり、市民の提案権が保障されています。

平成16年に制定され、6年を迎えているにもかかわらず、活用が十分におこなわれていない原因に「発意する主体を育てる」ことが不十分であることがわかりました。そこで、相談事業を特定の場所(市民活動センター)と巡回まちづくり講座(5か所巡回)の場で精力的に行いました。

その結果、思いを持っている市民は多くいるが、それが「発意する主体を育てる」ことにつながっていないこと

がみえてきました。それには「発意する主体」の相談にのり、育てていく「まちづくり相談員」が必要で、その制度の確立が急がれます。助成金を受けたことで、問題点の抽出ができ、今後は、行政にも働きかけながら、「まちづくり相談員制度」の定着をめざしていきたいと考えます。

普及啓発・発信については、計画段階にはなかった青少年・高齢者・障がい者関係者に新たに場を設けることができ、一段と事業を広げることができました。



「かわぐち自然エネルギー学校」の開催

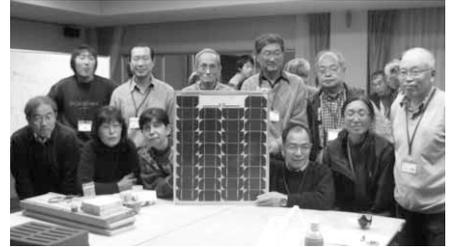
(特) 川口市民環境会議 (川口市)

地球温暖化の影響が深刻になる中、現在、地域一体となって温室効果ガスの削減に取り組んでいるところです。これまで私たちのNPOでは、エコライフDAYなど省エネの取組みに力を入れていましたが、同時に再生可能エネルギーの普及も重要であることから、この度、本事業の支援を受けて、全国各地で開催されている「自然エネルギー学校」を開催することにしました。

内容は、自然エネルギーについて基礎から学ぶ5回の連続講座で、座学だけでなく太陽光パネルの製作や、施設見学、設置者からの声を聞く場など市民からの目線で、「ここが知りたい!」と思う企画内容としました。参加された皆さんからは「今後自宅に設置する際に役だった」という声や「これから地域で自然エネルギーの普及

をしていきたい」という声などが多数寄せられました。

今後は、引き続き開催を継続していくと共に市民共同発電所の設置検討、太陽光発電システム等を設置している方やこれから設置したい方々への情報提供・相談の場など、他の関連団体と連携を図りながら普及に向けて様々な活動やサポートをしていきたいと考えています。新たな1歩を踏み出すことが出来まして心より感謝しています!



障がい者制度の狭間にある若者の就労支援

(特) サポートあおい (川越市)

保健
医療・福祉

私たちの法人は精神障がい者の地域生活を支援している団体です。就労を目指す利用者の方も多いため、就労支援にも力を入れています。昨年度は元気なまちづくり助成金でコミュニティカフェを開設することができました。その事業報告会でKHJ埼玉けやきの会家族会の活動を知り、カフェを使ってひきこもりなどの制度の狭間にある若者の就労支援ができないかという考えに至り、今回の助成事業を計画しました。

今回は、ビジネスマナーについてのDVDを見て、内容について振り返りを行う中で、就労への動機づくりと

居場所や仲間づくりを図ってもらおうという目的で15回シリーズの学習会を開催しました。

ティータイムも設けて参加者の方々にコーヒーなどを実際に淹れてもらい、喫茶業務も体験していただきました。

参加者の方にはDVDも喫茶体験も好評で、回を重ねるごとにコミュニケーションも深まったようでした。

参加者の方から継続を希望する声も多く、今後は彼らと一緒にさらに一歩進んだ活動ができればと考えています。



親子で体験「食育」プログラム

(特) 子育てステーションたんぼぼ (久喜市)

食育・
花育

私たちは、子育て中の親子をサポートする団体です。社会からの孤独感・閉鎖感から抜け出し、子育て中の親子を地域の中で地域の人たちと一緒にサポートする事を目標にしています。

今回の助成により「食育」をテーマにイベントを行い、ひとつのテーマにより集う親子に交流の場を提供する事ができました。助成に当たっては、企画・申請・プレゼンなど大変でしたが会員同士が綿密に話し合いを持ち企画を進め、団体にとっても貴重な経験になりました。イベントの進め方なども一から考えるきっかけになりました。

また助成金により、より豊かな内容のイベントを開催

する事ができ参加者からも充実した内容だった、参加することで子育てに意欲が出たなどの感想もいただく事ができました。団体自身も新たな親子との交流や行政(久喜市)との連携をはかることができました。

今回助成を受けた事で得たつながりや体制・知り得た情報などを今後への足がかりとし、イベント開催や団体の活動に生かしていきたいと思っています。



県民のためのCKD（慢性腎臓病）対策事業

（特）埼玉県腎臓病患者友の会（さいたま市中央区）

当会は県内の透析患者を主な会員とする患者団体です。平成19年にNPO法人格を取得して以来、毎年増え続ける透析患者の数をいかにしたら抑制出来るかを念頭に置き活動を続けて来ました。

今回をその一環として、今や国民病とも言われている慢性腎臓病（CKD）対策を主なテーマに掲げ、11月28日（日）に「第4回市民講座」を開催しました。講師2名による講演は、第1部を「慢性腎臓病（CKD）の診断とその治療について」、第2部を「透析治療の現在と今後について」とし、早期発見・早期治療の重要性を訴えました。

さらに患者の立場から、広く一般県民に対しCKDについて注意を喚起するようリーフレット 50,000 枚を

発行、配布しました。

これらの事業は県のNPO基金を得て実現することが出来たものです。来年度以降も引き続き行政や医療機関等とも連携し、講演会、シンポジウムを開催していきたいと考えています。

また、教育現場で若い世代の人たちにCKD対策を呼び掛けるような機会も設けたいと考えています。



「下肢から健康づくり」関節予防インストラクター巡回事業

（特）ふぁいぶるクラブおがのむてっぽう（小鹿野町）

当団体では、毎週関節痛予防体操を開催していますが、これまでは自身で会場に来られる方々を対象としてきました。しかし、小鹿野町では、山深いために集落が点在しています。各地域には移動手段がなく、参加したくても参加出来ない人が相当数いらっしゃいます。また、一人暮らしで誰ともコミュニケーションをとれない高齢者の方々も多くいます。

当団体では、チャレンジサポート事業の助成を受けて、そのような方々に運動を楽しんでもらえないかと、「下肢から健康づくり」関節痛予防インストラクター巡回事業を実施しました。内容は、①血圧測定 ②関節痛予防体操 ③フットマッサージ ④ストレッチとなっています。

行政の担当の方や区長さんの広報へのご協力により、地域の5会場で、目標とする50名を上回る89名の参加者を得ることができました。参加した皆さんには大変喜んでいただき、当初の「高齢者の方々に再び運動する楽しさを感じてもらおう」という目標を達成できたと感じています。また、実施したスタッフやメンバーにとっても、やりがいや楽しさを感じることができた事業でした。

次年度以降も、同様の取り組みを続けていきたいと思っています。



図書館への図書・定期刊行物寄贈サポート事業マニュアル策定

（特）地域活性化プラザ（川越市）

私たちのNPO法人は、図書購入費の減少等でピンチを向かえている図書館運営を、幾分なりとも改善することにお手伝いをしたいという願いで、地域の企業や団体に社会貢献の一端として、図書館に図書等を寄贈するシステムを構築できないだろうかということが、今回の取組の動機でありました。

幸い、チャレンジサポート事業として選定いただき、この図書寄贈サポート事業の当事者である図書館と企業・団体を対象としたアンケートとヒアリングの二段階での調査を実施しました。加えて事業の先行あるいは試行の意味合いから、さいたま市立中央図書館及び坂戸市立中

央図書館の二館で実践しました。関係者皆様のご協力により今後への確かな見通しを得ることができました。

結論として、全国的に初めてとなるNPO法人が介在する「図書館への図書・定期刊行物等寄贈サポート事業」は、改善を要する課題はあるものの、大筋として必要性和実施について確かな見通しを得ることができました。



雑誌の表紙のビニールカバーに、協賛した企業の広告が載っている。

平成22年度事業内容(みんなでサポート事業)

寄附金を活用し、寄附者の意思を尊重した助成をすることにより、地域のNPOを地域で支える仕組みを促進します。

対象事業	基金登録団体が主に県内において実施する、定款(規約)に規定された特定非営利活動(社会貢献活動)に係る事業
対象団体	基金登録団体のうち、当該団体を希望する寄附金があった団体
助成限度額	寄附金額による(年間1,000万円を上限)
事業実績	助成件数 計24件 助成金額 計5,644千円

なお、平成23年度のみんなでサポート事業は、平成22年度と同内容で実施する予定です。

みんなでサポート事業の流れ



(特) いきいき市民連絡会 (坂戸市)

元気な高齢者の憩いの場いきいきハウス「にぎやか」10周年を記念して地域の方々と交流するための「地域ふれあい文化祭」を開催しました。入場者146人、利用者の作品展示67点、地域の方の作品展示25点でした。

会員、特に利用者さんに自分の作った作品が展示されたことを非常に喜んでもらえました。一般の方の入場者が多く、いきいきハウスに関心を持ち入会の意思を示された方がいました。展示物に対する評価が高く、また手作り体験コーナーが大好評で材料が足りなくなるほどでした。このイベントでいきいきハウスの存在を知ってもらえ、地域の方の絆を大切にしたい当会の事業の目的が果たせました。



(特) 在宅福祉サービスたすけあい日高 (日高市)

地域社会において、住民同士が「困った時はお互いさま」の考えのもとに、助けたり、助けられたり出来る仕組みの輪が広がったら、住民の生活は暮らし良くなるでしょう。

高齢者・障害者のみならず誰でも、病気など様々な生活困難を抱えています。これらの人たちを支援する活動に参加し、自分たちの手で、出来る支援を行いながら自分たちの将来の生活を展望することは有益です。



(特) サポート輪 (ふじみ野市)

地域住民の方々に、介護の現状を知っていただきたいと考え映画上映会を開催しました。映画では理想とする介護をめざして、日々奮闘する若者たちが描かれています。彼らが一番大切にしているのが、利用者のありのままを受けとめること、利用者自分の「居場所」があると感じてもらうことでした。介護者のご家族にも安心と信頼が寄せられる存在になることも大事なことです。このような介護にとって神髄とも言えることを、参加者と共に感動しながら見ていただき、改めて自分たちサポート輪の利用者本位のあり方を確認できたことも成果と言えます。



(特) たすけあいワーカーズこの指とまれ (さいたま市)

私たちは市民による助けあいの理念に基づき、赤ちゃんからお年寄りまで生活の支援を必要とする人々に対し、保育、家事、介助、介護等支援、調査研究、政策提案等の活動を行ないます。

住み慣れた地域で自分らしく暮らしたいと願う人に心温まる家庭的なサポートを、自分も受け手になることを意識して利用者の立場に立った支援を提供したいと思っています。



(特) 土と風の舎 (川越市)

人と自然と地域との新たな共生を目指して、園芸や農を活用した様々な取組を展開しています。参加体験型のこえどファームでは市民の健康増進・子育て支援・子供たちの情操教育・障がい者の就労支援などを目的にした農業自然体験や農業実習を行っています。その他、出張型自然園芸体験プログラム企画提案、福祉施設や精神科病院での園芸療法、障がい者への自立・社会参加支援プログラムの実施、精神障がい者の農園芸分野への就労支援などを行っています。



(特) ほっとポット (さいたま市)

相談に来られた方に、ふたたび住み慣れた地域で豊かな社会生活を営んでいただくため、活用できるさまざまな支援やサービスを分野を超えて寄せ集め、「人」を軸にした支援を組み立てます。アパートの入居支援、生活保護申請の同行、各種社会福祉サービス（高齢者・身体・知的・精神障害者・ひとり親・DV被害者など）の紹介や手続き支援、障害手帳の申請補助、介護サービスの導入補助、多重債務・病気等の相談など、あらゆる生活上のサポートをしています。



(特) NPO 菜の花エコプロジェクト (坂戸市)

当NPOの活動テーマは「見て食べて車が走る菜の花体験しませんか!」です。遊休農地を活用し菜の花を栽培し菜種を収穫します。その菜種から、国産100%の菜種油を搾油し、廃食油は環境にやさしいバイオディーゼル燃料や粉石けんにリサイクルします。資源循環型のまちづくりを目指しています。菜の花プロジェクトは、環境にいい・気持ちいい・健康になる・きれいな花など、明るい未来に向けたKの活動です。カッコいい農業のKを目指し、皆さん参加しませんか!



(特) 埼玉県愛瓢会 (所沢市)

笑顔を誘い誰からも愛される「ひょうたん」。その「ひょうたん愛好家」の集まりである当会は、NPO法人全日本愛瓢会・埼玉県支部として全国の多くの仲間と交流を深めて発足後5年余。活動の目玉でもある「作品展示会」は既に4回開催。毎回多くの来場者もあり、ひょうたん文化の広がりを実感いたします。

平成25年度開催予定の「全国大会」は埼玉県での開催が決定しており、会員一同その準備に着手しているところです。



(特) 川口市民環境会議 (川口市)

私たちのNPOでは、温暖化防止のために、毎年、年に1日市民がエコライフ行動をしてCO2削減に挑戦する「エコライフDAY」を実施しています。CO2は目に見えないため、実施した結果を何らかの形でフィードバックする必要があります。今回、結果を広く周知するため「報告用ポスター」を作成しました。市内にある約1000箇所の掲示板や、小中高等学校の各教室、各店舗・事業所などに掲示していただき、沢山の市民の皆さんに結果をお伝えすることができました。



(特) くぬぎグリーンネット (狭山市)

当NPOはくぬぎ山地区の自然再生を目的にスタートしたボランティア団体ですが、現在は二酸化炭素削減、農地活用や食料自給など、地球問題に広く取り組んでいます。活動の範囲もくぬぎ山にこだわることなく、広く県内を対象として、活動することを目指しています。

会員同士が目標毎にグループを作り分科会として、独自に計画を実践する事を方針としています。多くの方が目的を持って会員となりNPOくぬぎグリーンネットを自己実現の場とされることを期待しております。



熊高森づくりの会 (熊谷市)

熊高森づくりの会は平成20年7月5日に設立されました。当会では、埼玉県立熊谷高等学校(以下「熊高」という。)の校歌にうたわれた荒川水源地の一つである長瀬町宝登山に悠久の森づくりを行っています。

この活動により、熊高に学んだ卒業生、在校生の他、地域住民など多くの人たちが集い、交流を図るとともに、地球環境の保全や水源涵養等に寄与したいと考えています。会員数は約800人。事務局は熊高同窓会館「くぬぎ会館」内。



鴻巣の環境を考える会 (鴻巣市)

元荒川の豊かな自然再生を目的として、鴻巣市内小中学校の生徒を対象に、水質調査、生きもの観察などの学習指導をしています。また、エコライフ DAY2010の普及拡大につなげ、地球温暖化対策を実践しています。また、元荒川の水温、透視度、pH、CODなど水質調査の体験学習を通じて、メダカ、フナ、ドジョウやカエルなどの生き物に感動し、省エネや地産地消など地球温暖化対策に興味を持つきっかけを子どもたちに与えることができました。



(特) 埼玉エコ・リサイクル連絡会 (さいたま市)

当会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

主な事業にはエコ・リサイクル交流集会を始め、研修見学会や講演会(学習会)などがあり、委員会(資源循環、ごみを知ろう、グリーンコンシューマー)ではそれぞれにテーマを掲げ、活動を行っています。

環境講座では出前講師を派遣し、県内外の学校、公民館などの環境学習のお手伝いをしています。(http://www.townnavi.info/eco-risa/)



(特) 秩父農工森づくりの会 (皆野町)

平成22年5月29日に「埼玉県森林づくり締結式」が埼玉県知事、秩父市長、当会代表3者にて行われました。

その時に植樹したカエデが鹿害により枯れたため、今回100本植えなおしをしたものです。また、今後の鹿害を防ぐ対策として、鹿食害防止ネット「くわんたい」を設置しました。これからも、地域の皆様の協力を得ながら、会員一同力を合わせて埼玉県民に愛される森づくりを進めていきます。



(特) 高齢者・障害者サポートクラブ (越生町)

本法人は、高齢者・障害者の人権を擁護するため、福祉等に関する相談や関係機関との連絡調整などの取り組みを行い、その人の持つ悩みや不安を解決できるよう支援しております。

具体的には、成年後見制度等を活用し、高齢者・障害者等の身上監護や財産管理を適切に行い、安心して社会の一員として生活が出来るよう努めております。



(特) ivory space (さいたま市)

当団体では、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流などをを行うと同時に、交流を通じて地域社会を考えるきっかけとなることを志向しています。

昨年度は、国際理解・多文化共生の一環として、小学校や大学、地域での講演活動や、タイ都市スラム内での伝統文化推進活動、タイ北部山地民への教育協力活動等を行いました。

今年は、多文化共生を考える講演会（年4回）やアジア映画上映会などを企画しています。ちょっとした関心から世界が広がる草の根活動をモットーとしています！

**(特) 燈台 (北本市)**

燈台は、アフガン難民及びアフガニスタン共和国国民自立のための一助として20年以上にわたり活動しています。

国内と周辺地域において、医療面（風土病治療等）と教育面（小・中・高等学校）の援助を行っています。活動は一般寄附、企業広告、公的助成等の協力を得て行っています。

日本からの＜善意と愛＞が実を結ぶ日を期待しています。

**(特) 教育ネットワーク・ニコラ (さいたま市)**

事業資金の乏しい中、たとえ僅かな金額でも助成金の支援は助かりました。今回実施した15周年記念イベントに併せ、当初の企画では、記念誌発行と各教育機関への発送も想定していましたが、手持ちの資金で都合のつく範囲での実行へと縮小を余儀なくされています。現在進めている新サイトの構築（「全国子ども支援ネット」（仮称））は時間と人力の許す限りでの取り組みとなります。新サイトは埼玉県内の不登校問題を軸とした、様々な教育機関、子ども支援組織、医療機関、その他の子どもの学びと活動の機関、民間教育団体等のポータルサイト化を目指したいと思っています。現在、作業中です。

**(特) さいたまチャイルドライン (朝霞市)**

チャイルドラインは18歳までの子ども専用電話で、フリーダイヤルで開設しています。本事業により、埼玉県内42万人の子どもたちに周知のためのカードを配布することができました。2010年度4月から2月までの間に18,121本の電話が着信しています。毎日電話のベルは鳴りやむことなくかかり、電話の中で子どもたちは心の不安や自身が持てない気持ち・孤独感などを伝えてきます。確かに受け止める存在があることで、子どもたちが問題解決の糸口を見つけてくれることを願っています。

**(特) プラスアルファテニスカレッジ (八潮市)**

少年少女やテニス愛好家の皆様を対象に生涯親しめるテニスというスポーツをより普及させ更に発展出来るようにと日々、テニス指導、人間育成に努めております。

今回はプロテニス選手を招待して愛好家の皆様に生涯テニスの理想的なあり方をレクチャーし、ジュニア選手、保護者には技術、戦略アドバイスだけではなく、青少年期の揺れ動くメンタルケア、学業とテニスの両立、怪我、挫折などをどのようにして乗り越える事が出来たのかをレクチャーいただき、参加者から大変有意義な講習だったとの声をいただくことができました。

**(特) NPO埼玉ネット (さいたま市)**

NPO人材育成、NPOフェスタ、行政と協働してのシンポジウム、行政・指定管理者との協議機関への委員派遣、ラジオ番組制作、NPO共同オフィス「埼玉NPOハウス」「彩の国さいたまNPOプラザ」企画運営等の活動を通して、新しい公共をつくる市民キャビネット等全国的なネットワーク組織と連携し、埼玉県における市民が行う非営利活動の連絡、交流、支援を行い、豊かで充実した市民社会づくりに寄与しています。



NPO運営力強化・育成支援事業

NPOが継続的、安定的に組織を運営していくために必要なマネジメント力や広報力等に関する能力の向上を図り、NPOの組織運営基盤の強化を目指します。

平成22年度事業内容

● マネジメントセミナー（全4回 延べ295人参加）

テーマ	講師／コーディネーター	開催日・場所
第1回「チャタリングに伝える」新しい広報スタイル	講演&対談 マエキタミヤコ氏 広告メディアクリエイティブ [サステナ] (特)さいたまNPOセンター 東一邦氏	1月22日 埼玉会館
第2回「お金を集める、もらう、借りる」資金調達の実践	小島美里氏 (特)暮らしネット・えん 米田佐知子氏 (特)神奈川子ども未来ファンド (特)さいたまNPOセンター 松本博之氏 梅村敏幸氏 (特)中央労働金庫	2月2日 さいたま市生涯学習総合センター
第3回「後継者を育てる」NPOの人材育成術	渡辺ひろみ氏 (特)秋桜舎コスモスの家 (特)さいたまNPOセンター 小山淳子氏 (特)コミュニティ・コーディネーターズ・タンクCoCoT 西村美智代氏	2月14日 浦和コミュニティセンター
第4回「伸びるNPOはここが違う」NPO運営のポイント	秋元健二氏 (特)セカンドハーベスト・ジャパン (特)さいたまNPOセンター 毛塚香恵子氏 (特)ほっとコミュニティエドがわ 山岸秀雄氏	3月1日 浦和コミュニティセンター

● ホームページ講座（初級・上級 延べ67人参加）

テーマ	講師	開催日・場所
【初級編】「3時間でホームページを作ろう」	野中宏志氏 (特)埼玉情報センター	2月21日・With You さいたま
【上級編】「ホームページのビフォア・アフター！プロによるカイゼン講座」	入谷聡氏 (特)サービスグラント	2月26日・With You さいたま

● 地域講座（延べ416人参加）

地域振興センター	テーマ・講師	開催日・場所
川越比企地域振興センター 東松山事務所	NPOの会計処理について 深谷豊氏 公認会計士	6月14日 東松山地方庁舎
北部地域振興センター	「広報の意味と大切さ～効果的な情報発信のしかた～」 吉田俊一氏 埼玉新聞社クロスメディア局	9月11日 東蔵ホール（深谷市）
秩父地域振興センター	「NPO法人運営の現状と課題（自立運営に向けての一步）」 山田正孝氏 (特)エヌピーオーさいたま	9月29日 秩父地方庁舎
西部地域振興センター	魅力あるNPOに変身！！～飛躍するための資源確保術 柴崎光生氏 (特)ときがわり山文化研究所	11月10日 所沢生涯学習推進センター
東部地域振興センター 利根地域振興センター（共催）	NPOの会計と税務について 河崎陽子氏 資産相談センター	11月18日 春日部地方庁舎
南部地域振興センター	映像のまちづくりに向けたネットワークづくり 高橋恭子氏 早稲田大学川口芸術学校副校長 / 中村和彦氏 映画監督 / 佐藤浩幸氏・首藤麻衣氏・濱田梨栄氏 デフレンピック2009日本代表	12月4日 SKIPシティ(川口市)
南西部地域振興センター	NPOの人材育成と資金調達 柴田郁夫氏 (特)東上まちづくりフォーラム	12月3日 朝霞市産業文化センター
川越比企地域振興センター	NPOの現場から学ぼう(視察) (特)パン工房カウベル作業所・鶴ヶ島市パブリックビジネスセンター	2月28日 鶴ヶ島市役所 他

平成23年度は、22年度に引き続きNPOのマネジメント力や広報力など、様々な組織運営能力を強化する講座等を実施します。



NPO元気なまちづくり助成事業

NPOが主体となって取り組む施設整備に対して助成を行い、NPOの活動の拠点づくりや、地域資源を活用した施設整備を促進します。

地域でNPOが活動する拠点を増やすとともに、住民交流の機会を創出することで、地域で支え合うという共助意識を高め、地域に愛着を持ち、地域をより良くする「住民交流を目的としたまちづくり」を目指します。

平成22年度事業内容

助成区分	活動拠点の整備事業	地域資源の活用事業
助成対象事業	住民交流を促進する活動拠点として、県内に新たに施設を整備する事業	歴史や自然など地域資源を再評価し、まちづくりに活かすため、県内に住民交流を促進する施設を整備する事業
対象団体	県内に事務所を有し、県内を中心に活動しているNPO法人	
助成限度額	200万円（助成対象経費の10/10）	800万円（助成対象経費の4/5を上限）
対象経費	施設の整備に係る経費のうち、工事費もしくは設計費	
事業実績	助成件数 計3件 助成金額 計5,298千円	助成対象事業なし

平成23年度事業予定

助成区分	活動拠点の整備事業	地域資源の活用事業
助成対象事業	平成22年度と同じ	同左
対象団体	平成22年度と同じ	
助成限度額	200万円（助成対象経費の4/5を上限）	600万円（助成対象経費の4/5を上限）
対象経費	平成22年度と同じ	
予算額	4,000千円	6,000千円

事業の流れ



市民立ち寄りサロン 「SOCIAL・東上」(仮称)の開設

(特) 東上まちづくりフォーラム
(志木市)

国立や市立があるように、NPO立の学校があってもよいのでは・・・という発想で、企業OB層が中心となって市民大学を立ち上げるという構想が、2年ほど前からありました。しかし、いつも議論のみが先行し、先に進まないうでいました。ところが今回の助成事業への申請を検討する段階で急に進み出し、「とくとく市民大学」開校の運びとなりました。経営助っ人塾や「地域型ちょっと稼ぎ講座」、シニアパソコン助っ人塾、文化創出実践塾などの講座を始め、写真俳句会などのサークル活動がレクチャールームで行われています。

今後も市民層から多様な“教授”を発掘して発展していきたいと考えています。(市民教授、大募集中!) 一方、隣りに整備された交流サロンは、教授や受講者の憩いの

場ですが、『志木市地域支え合い・お手伝い隊』からも大いに期待されています。有償ボランティアが高齢者や障害者の手助けをする仕組みで、関わる人たちの集まる場、交流の場として活用されているからです。この場を通じて地域の活性化に貢献できるよう、今後も様々なまちづくり活動に取り組んでいきます。



アート支援ギャラリー織の音開設事業

(特) 織の音アート・福祉協会
(さいたま市)

ギャラリー織音(おりおん)

— 新たなアート・福祉文化の創造 —

手織りを通じて障害者が自ら楽しみや喜びを見出し、市民のひとりとして社会参加でき、その個性的な能力が地域の中で活かされるよう支援しております。また、当法人は地域社会や住民・商工・教育機関との連携において、地域福祉の推進を図り、障害者の自立と社会参加の実現を目指すことを目的とし、更に日本伝統文化の継承を図ります。

さて、このたびは、当助成事業を活用したアートギャラリーの開設を通じて、商店街の活性化や地域福祉の増進、

啓発活動を図り、日常的なボランティア活動を身につける機会を提供しました。

これからも地域コミュニティの拠点として、地域住民の生活向上につながるよう、また、障害者施設の運営と様々なイベント開催などを通じて幅広い視点と発想の独自性を持った事業を展開、継続します。今回助成していただいた埼玉県に心より感謝申し上げます。



食品加工場で収穫したブルーベリーと大豆でジャムと味噌作りをしよう

(特) ぶどうの樹(日高市)

当法人は障がいのあるわが子の将来を考える保護者により、平成15年にNPO法人として設立されました。当初は福祉事業に何の知識もなく不安でしたが、地域の方々の温かい支援を受け、徐々に活動の幅を広げてきました。当法人では農園を運営していますが、そこには障がいに応じた仕事とゆとりのある空間があり、ゆったりとした時間が流れています。

夏はブルーベリーの選別、ジャム作り、冬は大豆の選別、味噌作りを今回の助成により整備した加工場で行います。また、今後は豆腐や季節に応じたジャムなどの加工品作りに取り組んでいく予定です。

仲間たちの元気なあいさつで始まる朝礼、収穫した

野菜の袋詰め、値札付け、昼食時においしい花弁弁当(仲間たちと手作りしたお弁当)を食べること、農園で収穫された作物の出荷に向けた作業なども当加工場で行います。

今後は、地域住民の皆さんとジャム作りや味噌作りを共に行うことなどを通じてさらに交流を深めていきたいと考えています。



NPO協働提案推進事業

地域社会の課題について、NPOから県と協働して取り組める事業を提案してもらい、NPOと県が協働で事業を実施することで、NPOとの協働を推進します。

事業の実施にあたっては、県とNPOとの役割分担を明確にした上で協定書を締結し、実施主体となるNPOへ事業費を補助します。

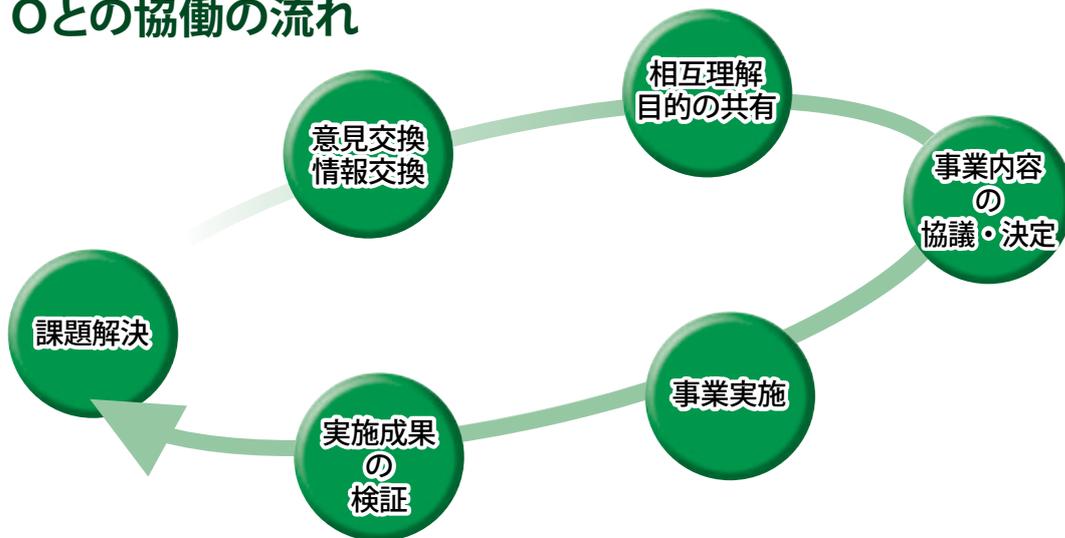
平成22年度事業内容

補助対象事業	NPOと県が協働で行う事業としてふさわしいもの（①か②のいずれか） ① 県が協働したいと考えるテーマに関する提案 ② 自由な提案
応募資格	県内に事務所を有し、県内を中心に活動しているNPO法人及び任意団体
補助限度額	150万円（事業費の4/5以内）
事業実績	補助件数 計6件 助成金額 計5,555千円

事業の流れ



NPOとの協働の流れ



平成23年度事業予定

平成23年は地域課題解決型協働事業としてリニューアルして実施します。詳しくは18ページでご案内します。

「埼玉県NPO大賞2010」の企画・実施

●団体の活動紹介

NPO人材育成、NPOフェスタ、行政と協働してのシンポジウム、行政・指定管理者との協議機関への委員派遣、ラジオ番組制作、NPO共同オフィス「埼玉NPOハウス」「彩の国さいたまNPOプラザ」企画運営等の活動を通して、全国的なネットワーク組織と連携し、埼玉県における市民が行う非営利活動の連絡、交流、支援を行い、豊かで充実した市民社会づくりに寄与しています。

協働事業の概要

県内で優れた活動を実践しているNPO法人を顕彰する「埼玉県NPO大賞 2010」には116団体から応募がありました。この中から、第1次選考として実施した県民投票（投

(特)NPO埼玉ネット(さいたま市)
×
NPO活動推進課

テーマ
提案

票総数 11,816) により選出された8団体を対象に、最終選考の公開プレゼンテーションを実施。8団体が作成した活動紹介フォームの内容や会場投票（入場者300人）の結果を踏まえ、選考委員会が総合的に判断して各賞（大賞・優秀賞・奨励賞）を決定しました。新聞への掲載（延べ12回掲載）をはじめ、NPO法人を紹介する音声データのHP掲載、USTREAMやYouTubeの配信など様々な形で情報を発信し県民のNPOに対する理解と関心を高める契機とすることができました。



6カ国語による生活情報案内(6カ国語生活情報クリップ)

●団体の活動紹介

外国籍市民の自立支援と多文化共生のまちづくりを目標に活動して15年目を迎えました。その間「悩み事・生活相談、シェルター、日本語教室、国際子どもクラブ、多言語情報誌の発行」など20ほどの事業を展開してきました。

私たちの暮らす地域で、外国の方が不利な状況に置かれることなく、同じ市民としていきいきと生活できるよう支援をしています。

協働事業の概要

ふじみの国際交流センターが行っている外国人悩み事生活相談は年間700件を越え、内容は多岐に渡っています。15年の体験を基に分かりやすい言葉で解説した生活情報

(特)ふじみの国際交流センター(ふじみ野市)
×
国際課

テーマ
提案

誌を作成したいと考えていました。NPOだけでは成し得なかったことが県との協働で実現しました。

この冊子は特に相談の多い「家族・ことば・入管・教育等」の項目を選択し、問題解決方法をきめ細かく記載しました。また、特徴は生活基礎知識に加えて「まって」や「ポイント」のコラム欄を設け、ぜひ聞いてほしいことを載せた点です。これを活用して、いろいろな縁で日本に暮らす外国の人たちが日本語を学び、一生懸命働いて、元気で安心して暮らせるよう願っています。



携帯電話回線を利用した同時通訳事業

●団体の活動紹介

外国籍市民の自立支援と多文化共生のまちづくりを目標に活動して15年目を迎えました。その間「悩み事・生活相談、シェルター、日本語教室、国際子どもクラブ、多言語情報誌の発行」など20ほどの事業を展開してきました。

私たちの暮らす地域で、外国の方が不利な状況に置かれることなく、同じ市民としていきいきと生活できるよう支援をしています。

協働事業の概要

「携帯電話回線を利用した通訳業務」は市役所窓口に来訪した外国人に対して通訳が必要と認めたとときに、複数人数で会話が可能な携帯電話を行政窓口を設置し、外国人通

(特)ふじみの国際交流センター(ふじみ野市)
×
国際課

テーマ
提案

訳による英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語の通訳を行います。

市民であるにも拘らず、日本語ができないために正しい情報が得られず、問題が解決されないため、事故に巻き込まれた外国人がたくさんいます。県との協働により多くの信頼を得て、県内の自治体全体にこのシステムを知っていたら、通訳業務を実施することができました。在日外国人が抱えるさまざまな問題に対応できる地域の再構築の基礎を作ることができました。



博物館活動支援事業

●団体の活動紹介

市民まつりや公民館、PTA等のイベント向けに昔ながらの遊びや食文化の体験メニュー（ボン菓子実演や射的等）を提供し、娯楽文化の普及・啓発を図る団体です。会員数は15人、活動範囲はさいたま市を中心に県西部まで及びます。過去3年間の活動状況は、各地でのべ27回にわたる事業を実施しています。

協働事業の概要

県立歴史と民俗の博物館が行う「博物館夏まつり」の一環として、昭和の風物を再現したノスタルジックなイベントを実施しました。これは「昔なつかしい遊びを体験しながら、

ばくだん屋(さいたま市)
×
歴史と民俗の博物館

テーマ
提案

家族や世代間の交流を深め、楽しみながら学習する場を提供する」という博物館のニーズに応えたもので、平成22年度は「射的」を実施して入館者の好評を博しました。当団体の体験メニューは藍染めハンカチやまが玉作りなど、学芸員やボランティアがふだん実施するメニューとは異なるものです。そこで、博物館で日ごろ体験できないメニュー（射的）を出展して事業の充実を図るとともに「博物館」という活動の場を通じて当団体のイメージアップに努めました。



障がいをもつ子どもの 就労実習の場を、広げよう!

●団体の活動紹介

障がい児者とその家族が住みなれた地域で豊かな生活を送るための様々な支援活動を行っています。障がい児放課後クラブをはじめ、地域の方々にも参加していただける余暇活動や、学校卒業後の働く場・社会参加の場づくり準備事業、障がいのある子もいない子も一緒に遊んで交流するおもちゃ図書館を行っています。

協働事業の概要

景気の後退や障がい特性への理解不足から職業実習を引き受ける場が少ないのが現状。社会に出て住みなれた地域で働くためには、民間の障がい者の働く場・社会参加の

(特)なかよしねっと(朝霞市)
×
特別支援教育課

自由
提案

場や地域に職業実習の機会が増えることが望めます。そこで県立特別支援学校高等部の生徒と「出張! お仕事体験」と題し市役所に出店しました。販売したのは高等部作業班が製作した作品など。作品を販売することで、生徒の活動の様子や作品の素晴らしさを知ってもらい、自分たちの作品が売れることが生徒の就労意欲につながりました。誰でもはじめから仕事ができるわけではありません。経験を重ねることでイキイキと仕事に取り組む様子が見られるようになります。



彩の国映画甲子園・映画上映普及者 養成講座による地域活性化

●団体の活動紹介

県内身近な場所で良質な映画を鑑賞する機会を提供することにより、文化、芸術の振興及びまちづくりの推進、地域コミュニティの再生を図り、広く公益の増進に寄与することを目的として活動しています。(財)埼玉芸術文化振興財団と毎月3日間、さいたま芸術劇場における定期上映をはじめ、県内各地の上映サポート等を行っています。

協働事業の概要

映像をとおして地域の魅力を再発見し、県ゆかりの映像クリエイターを発掘するため、県内のアマチュア映像コンテンツ「彩の国映画甲子園」を実施しました。川越スカラ座や

(特)埼玉映画ネットワーク(さいたま市)
×
産業拠点整備課

自由
提案

深谷シネマなど他のNPO団体や芸術文化振興財団などの文化芸術団体とも連携し、川越・深谷・さいたまの3会場で予選会を開催。川口市にあるSKIPシティで行われた本戦は、大林宣彦監督を審査委員長に迎え、大盛況のうちに終了。会場では、来年も開催してほしいとの声が寄せられました。また、地域に映画文化を定着させるために、地域での上映会を開催するノウハウを学ぶ「映画上映普及者養成講座」を県内3会場で開催。受講者の中には、地域上映会の実現に向けて動き始めたメンバーも出てきています。



地域課題解決型協働事業

福祉や環境、子育てなど地域社会が抱える様々な課題を解決していくためには、NPOと行政や企業、大学、地域団体等の地域の多様な担い手が持てる強味を持ち寄る協働が必要となっています。

そこで、NPOと地域の様々な主体が協働して、地域課題の解決に取り組む事業を募集し、その中からふさわしい事業を採択します。

この事業は、原則として3年継続して実施する事業を対象とします。

初年度はNPOが地域の多様な担い手との協働の組織づくりや、新たな事業計画の策定などへの補助を行います。

2年度目は、策定した事業計画に基づいて実施する事業に補助します。

3年度目は、2年度目の事業を評価・検証した結果に基づいて実施する事業に補助します。

平成23年度事業内容

補助対象事業	<ul style="list-style-type: none">• NPOと行政、企業、大学、地域団体等の3主体以上が主に県内において協働して行う事業• 地域課題の解決に向け多様な主体で取り組むことが効果的な事業• 提案するNPOの定款の目的に沿った事業• 地域において新たに取り組む事業• 他の助成等を受けていない事業• 原則として3年継続して実施できる事業で、4年目以降の事業継続や拡大が期待される事業• 初年度の事業は、平成24年2月28日までに完了する事業
応募資格	<ol style="list-style-type: none">(1) 平成23年4月1日現在、法人が設立（設立登記が完了）していること。(2) 事務所を埼玉県内に有し、県内を中心に活動していること。
補助限度額（補助率）	初年度：30万円（10/10）、2年度目：100万円（4/5）、3年度目：50万円（1/2） ※各年度とも審査委員会の審査を経て、事業採択される必要があります。

スケジュール

項目	日時・場所	備考
応募期間	3月28日（月）～5月20日（金）	
第1次選考	6月上旬	書類審査
第2次選考	6月下旬	公開プレゼンテーション
事業実施期間	7月上旬～2月28日	
補助金交付決定	7月下旬～8月上旬	
事業報告・精算	事業完了後15日以内、または平成24年3月7日のいずれか早い日までに実績報告書等を提出	
事業評価	3月上旬	自己評価
事業報告会	3月中～下旬	公開で実施します。



NPO基金にご寄附いただいた皆様

団 体

(有) さいたま典礼 様
 (株) ウイズコーポレーション 様
 守屋八潮建設 (株) 様
 天徳寺 様
 コトブキシーティング (株) 様
 (株) リクルート 様
 ジーエー・システム (株) 様
 (株) 市之瀬電設 様
 富士パン粉工業 (株) 鴻巣工場 様
 協和化工 (株) 埼玉工場 様
 みたけ食品工業 (株) 様
 トキタ種苗 (株) 様
 入間ガス (株) 様
 (社) 埼玉県看護協会 様
 キリンビール (株) 埼玉支社 様
 (特) きずなの会 様
 (有) 栄華堂 様
 行田資源リサイクル協同組合 様
 アサヒビール (株) 埼玉統括支社 様
 (株) ユーディケーサービス 様
 (有) ノリス 様
 (株) ウッディーコイケ 様
 (株) エアコンセンター 様
 (医) 鴻生会 小室クリニック 様
 国際ロータリー第 2770 地区 様

(株) 右川ゴム製造所 様
 (社) 埼玉県医師会 様
 (株) 小山本家酒造 様
 (財) 埼玉県公園緑地協会 様
 (株) 丸喜 様
 ワールドクッキングサービス (株) 様
 埼玉県遊技業協同組合 様
 (社) 埼玉県環境検査研究協会 様
 (社) 埼玉県薬剤師会 様
 埼玉県電気工事工業組合 様
 (社) 埼玉県歯科医師会 様
 (財) さいたま住宅検査センター 様
 (特) フリーマーケット主催団体協議会 様
 NPOまつり実行委員会 様
 東京ガス (株) 埼玉支店 様
 (社) 全日本不動産協会埼玉県本部 様
 AGS (株) 様
 生活協同組合パルシステム埼玉 様
 (医) 橋田内科クリニック 様
 石坂産業 (株) 様
 (株) 富士薬品 様

匿名希望18社

ご寄附いただき
 ありがとうございます。

個 人

川崎 環樹 様
 山本 誠實 様
 石井 清江 様
 宇佐美真一 様
 鋤柄 隆 様
 田島 和雄 様
 須田 沃 様
 木村 勝昭 様
 清水 裕之 様
 立石 愛子 様
 大橋 栄一 様
 金子 義人 様
 菅山 修二 様
 渡邊 ゆみ 様
 小林 修一 様
 早船 雅文 様
 安藤 修 様
 安部 実 様
 丸木 和子 様
 大前 明 様
 斉藤 勉 様
 河登 一郎 様
 青木 利人 様
 山村 昭康 様
 武井 由貴 様

川名はつ子 様
 久保田和志 様
 堀江 愛純 様
 福岡ゆう子 様
 江川 寿子 様
 川口 優子 様
 塚越 民夫 様
 荒井美代子 様
 新村 雅彦 様

匿名希望16名

平成 23 年 3 月 31 日現在 (寄附順)

寄附者の声

一般財団法人 さいたま住宅検査センター 様

弊社は、住宅やマンション、店舗及び工場などの建築物の審査、検査業務等を通じて優良な住宅の普及を図るとともに消費者の保護及び公共の福祉に寄与すること、を目的に、事業活動を行っております。

その一環として、県内の住宅や都市に関連する「まちづくり事業」にお役立ていただくため、昨年度に引き続き 22 年度においても寄附をさせていただきます。

埼玉県のNPO活動の発展、市民が主体となった地域社会づくりの一助となれば幸いです。

株式会社 小山本家酒造 様

「目指せ！清流日本一！」

創業者、小山屋又兵衛が大宮指扇の地で酒造りを始めてから、おかげさまで 202 年を迎えることが出来ました。酒造りと水とは切っても切れない縁があり、また、埼玉県は県土に占める川の面積が日本一です。

昨年「目指せ！清流日本一！」とスローガンを掲げ、売上の一部をNPO基金の「みどりと川の再生」などを支援する環境保全分野に寄附しました。

今後も埼玉の川が日本一の清流になるよう、NPO基金を通じて環境保全活動を応援してまいります。この取り組みが、埼玉県の明るい未来へつながる第一歩となれば幸いです。

皆様からのご寄附をお願いします!!

NPO基金への3つの寄附方法

広くNPOを
支援するなら



一般
寄附

各種助成事業やNPOを育成・強化する
事業など、幅広い用途に使われます。

支援したい
分野があるなら



分野希望
寄附

17の分野などから希望でき、
NPO活動サポート事業
(チャレンジサポート事業)の原資となります。

➔ P.4~7

特定の団体を
応援したいなら



団体希望
寄附

基金登録団体から希望でき、
みんなでサポート事業の原資となります。

➔ P.8~11

NPO基金へご寄附いただくと 税法上の優遇措置があります。

個人の皆様

所得税や住民税等が、寄附額や所得等に
応じて控除されます。

法人の皆様

寄附金額の全額を損金算入することが
できます。

※具体的な控除金額等、詳しくは、お手数で
すが、県税務課までお問い合わせください。
Tel 048-830-2640

さらに寄附の累計額が個人で10万円、 団体で50万円以上になると…

1. 知事から感謝状を贈呈いたします。
2. 埼玉県NPO情報ステーションに
バナー広告を掲載できます。
3. 50万円以上の分野希望寄附を
いただいたときは、助成事業名に
愛称をつけることができます。

➔ P.5

埼玉県NPO情報ステーションをご活用ください!

●埼玉県NPO情報ステーションとは?

NPO活動を支援するために設置した総合的な情報提供サイトです。
NPOに関する情報がもりだくさん。

●NPO協働ひろば(つながリーナ)で情報発信!

NPOと行政、企業、地域団体、大学など、地域の様々な団体が協働して
地域の課題解決に取り組むための「出会い」や「情報交換」の「ひろば」です。
NPOはもちろん、地域貢献活動に取り組む全ての団体が活動紹介やイベント案内などの
情報を発信できます。ぜひ登録ください。

携帯電話からも情報の閲覧、検索、掲載が可能です。気軽にアクセス♪

つながリーナ

検索

<http://www.saitamaken-npo.net/>



お問い合わせ先

埼玉県県民生活部NPO活動推進課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-830-2828 FAX 048-830-4751 E-mail a2835@pref.saitama.lg.jp
埼玉県NPO情報ステーション <http://www.saitamaken-npo.net/>

